



New Zealand

Go around the Clubfield

Snowboarding Session with Kazushige Fujita

2018 Aug 20th to 25th

この夏、ニュージーランドで滑りませんか？
まだ見ぬ世界がそこにはあります。



ニュージーランド・クラブフィールド 藤田一茂ライディングセッション 5泊6日

ニュージーランドにはコマーシャルフィールドとクラブフィールドという2つの運営方式の異なるスノーフィールドが存在します。前者は営利を目的とした企業等が運営するリゾート型のスノーフィールド。後者は会員制のクラブ員のボランティアや寄付により営利を目的としない運営が行われるフィールド。そのクラブフィールドは最低限の運営方式の為に圧雪車やチェアリフトの設備は無く、ロープトゥッやナッツクラッカーといったギアを使い天然の地形を滑る。謂わばバックカントリースノーフィールドと言える場所です。この企画ではニュージーランド・カンタベリーエリアに点在するクラブフィールドの地形を知り尽くしたローカルガイドの案内のもと、スノーボーダーの藤田一茂と共にその地を巡ります。そして各クラブフィールドのハットに泊まり、山の上での美味しい食事とその日の思い出を楽しむ。各地の様々な歴史やその地に関わる人々との会話も旅の楽しみになるでしょう。他では見られないニュージーランドのスノーカルチャーでの体験は、あなたのスノーボード人生の大きな思い出の1つになるはず。旅はスノーボードの魅力を深めます。

日程 8月20日～26日 現地5泊6日 クライストチャーチ集合・解散

行程

- ・ 1日目
 - クライストチャーチエアポートに到着・集合
 - オリンバスへ移動
 - オリンバス・トップハットに宿泊
- ・ 2日目
 - オリンバス滑走
 - オリンバス・トップハットに宿泊
- ・ 3日目
 - オリンバスを滑走
 - クレイギーバーンに移動
 - クレイギーバーンに宿泊
- ・ 4日目
 - クレイギーバーンを滑走
 - クレイギーバーンに宿泊
- ・ 5日目
 - ブロークンリバー滑走
 - クライストチャーチへ移動
 - エアポート近郊のホテルに宿泊
- ・ 6日目
 - クライストチャーチエアポート解散・帰国

金額 NZ\$ 2,250 (約170,000円) 1人あたり ※ガイドカンパニーにお支払い頂きます

- ・ 金額に含まれる物
 - 5泊分の宿泊代金 (4泊のクラブフィールドステイでは2段ベッド等の相部屋・クライストチャーチではツインをシェア)
 - 4日分のリフトチケット
 - 5日分の食事 (夕食4回・朝食4回・昼食4回)
 - 集合から解散までの全ての移動 (1台もしくは2台で送迎を行います)
 - ガイド代金 (現地ガイドカンパニーBlack Diamond SafarisよりReneとBrett)
 - ロープトゥッハーネスとアバランチトランシーバーの貸し出し
 - 藤田一茂セッションフィー
- ・ 金額に含まれない物
 - エアチケット ※各自ご用意ください
 - アルコールとスナック ※購入の機会はございます
 - レンタルギア

定員 10名 (最低遂行人数 3名)

参加資格 様々な地形や雪質を滑る事が出来るスノーボーダー

募集期限 7月25日

企画・運営 Black Diamond Safaris <http://blackdiamondsafaris.co.nz>



注意事項等

- ・クラブフィールドにはチェアリフトの代わりに、ロープトゥッとナッツクラッカーを使い斜面を登ります。慣れるまでは少し難しいかもしれませんが。
- ・ニュージーランドは日本に比べ積雪が少なく、また木々のない岩山です。その為、滑走時にボードが傷つく場合がございます。
- ・積雪や天候の条件により、滑走場所の変更を行う場合がございます。その時のベストな場所へご案内致します。
- ・ツアーでの怪我等の保険は加入していません。各自、海外旅行保険等の保険にご加入をお勧め致します。
- ・グループでご参加の場合、ツアーの日程や場所等のカスタムが可能な場合もございます。ご相談ください。

お問い合わせ・申し込み 藤田一茂 touristforest@gmail.com



オリンパス

カンタベリーエリアで歴史が1番長いクラブフィールド。上級者以外にも家族連れから年配の方々と幅広い層の人たちがフィールドを楽しんでいる。またメンバーの数も最多であり、山の上にあるロッジの快適さには驚かされる。ロープトゥと30分程度のハイクアップで広大な斜面でのロングランが楽しめる。



ブローケンリバー

雪が溜まりやすく多くの滑り手が好む場所。5分ほどケーブルカーに乗りチケットを購入。15分歩くと最初のロープトゥに辿り着く。ローカルも多く晴れの日にはハットで自由に使えるBBQでそれぞれの肉を焼く姿が印象的。スティーブなショートフェイスを何度もお代わりし、帰り際の爽快なロングランで仕上げる。



クレイギーバーン

ワイルドで勇ましいフィールドはクレイギーならではの。こんな所を滑っても良いのか？という場所へ、いとも簡単にアクセス出来る。岩の間を滑るロングなシュートやオープンバーン、上級者以外はどこを滑れば良いのか分からない。ニュージーランドの魅力が詰まった場所。

“GO AROUND THE FIELD”

<https://vimeo.com/272599961/0cefd65bf>

2017年8月。藤田一茂と中井孝治が6日間に渡りカンタベリーエリアにあるスノーフィールドを巡ったドキュメンタリー映像。各フィールドの雰囲気やナッツクラッカー、ニュージーランドの情景を見る事が出来る。この映像の撮影時に的確なアドバイスをくれたReneが今回のニュージーランド企画のメインガイドを務める。彼が居てこそこの映像だ。

